科目ナンバー	SEM-3-003	3-ky			科目名 課題演習! (小林)							
教員名	小林 恵美				開講年度	度学期 2020年度 前期 単位数 2020年度 前期 2020年度 前期 2020年度 前期 2020年度 前期 2020年度 前期 2020年度 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十			2			
概要	本演習では、言語と教育の密接な関係を念頭に入れ、第二言語習得と外国語教育の接点を探求していきます。様々な研究や理論について読み、自分達の外国語学習経験について内省し、議論していくことで、第二言語習得及び外国語教育に関する理解を深めていきます。											
到達目標	第二言語習得論で学ぶ様な研究や理論を基に、どのような英語学習や英語指導が、学習者の英語運用能 力を育てるのに必要なのかについて、読み、内省し、議論していくことで、第二言語習得と語学教育に関 する理解を深めます。											
「共愛12の力」と	の対応				_							
識見 		自律する力		1	コミュニケーショ		カ	問題に	問題に対応する力			
共生のための知識		自己を理解する力			伝え合う力		0	分析し、思考するカ 〇		+		
共生のための態度	₹	自己を抑制する力			協働する力		0	構想し、	実行するカ			
グローカル・マイ ンド		主体性		0	関係を構築する力		0	実践的	スキル			
教授法及び課題の フィードバック方 法		ごて、発表、	議論、講郭	遠、グルプワ	ーク等							
アクティブラーニン	ノグ	0	サービス	ラーニング			課題解決	課題解決型学修				
受講条件 前提 科目	루	言語字 &  」、「英語字 &  」、「教育言語字 &  」等関連科目をあらかじめ又は同時に履修することが										
アセスメントポリシー及び評価方法	Reflection 50% Discussion Leading 20% Reflection and Analysis of Your Language Learning 20% Reference List 作成(APA style) 10% 評価は、上記の項目を総合して行う。 馬場今日子・新多了『はじめての第二言語習得論講義:英語学習への複眼的アプローチ』											
教材	白井泰弘(2008)。『外国語学習の科学:第二言語習得論とは何か』、東京:岩波書店 この他参考資料は随時配布。											
参考図書	上村妙子・大井恭子(2004).『英語論文・レポートの書き方』.研究社 大関浩美(2010).『日本語を教えるための第二言語習得論入門』.東京:くろしお出版 小柳かおる(2004).『日本語教師のための新しい言語習得概論』.スリーエーネットワーク 白井恭弘(2004).『外国語学習に成功する人、しない人』.岩波書店 村野井仁(2006).『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』.大修館書店 米山朝二(2003).『英語教育指導法事典』.研究社											
内容・スケジュー ル	授業では主に、テキスト『はじめての第二言語習得論講義:英語学習への複眼的アプローチ』を用いた担当者の発表や、学習内容に関するディスカッション及び講義等を行います。第二言語習得論の概要、母語習得、母語が与える影響、認知的アプローチ、社会的アプローチ、タスク中心アプローチ、外国語適正、動機付けといった内容について英語で書かれた論文の要約文を理解する練習や参考文献リスト作成の練習も予定しています。 この他、各自選択する第二言語習得に関する英語で書かれた論文の内容発表も予定しています。「授業外学修」毎週以下準備や復習が必要:所要時間平均約2時間予習: 〇次週教科書指定箇所を読み、学んだ内容や疑問を書き出す 〇専門用語を書き出し、その定義や説明なども書き出す 〇各自テキスト担当箇所の説明の準備(視覚資料作成含む)復習: 〇授業での学びを振り返り、内省文を作成(学習内容と自身の語学学習経験との関係性についても可能な範囲で述べる)この他、課題に必要な時間Language Learning History 作成(2時間程度)Reference List 作成(2時間程度)Reflection and Analysis of Your Language Learning ①第二言語習得について前期学んだ内容のまとめ(3時間程度) ② Language Learning History を題材に、学んだ知識を用いて、自身の語学学習を第二言語習得研究の視点より説明(1時間程度)											

Number	SEM-3-003-ky	Subject	Junior Specialty Seminar I					
Name	小林 恵美(Kobayashi Emi)	Year and S emester	First semester for 2020	Credits	2			
Course O utline	This seminar deals with various areas of applied linguisticswith a special focus on second language (L2) learning and teachingin order to provide students with an understanding of the way in which L2 learning takes place in various contexts. You will read about various research and theories and reflect on your foreign language learning to deepen your understanding of L2 education.							